



1ねん1くみの1にち
川島敏生…写真・文
登校、朝の会、国語や算数などの授業、休み時間、給食、そらじ、帰りの会…。学校でどんなところ？ 小学1年生のクラスの1日を写真で紹介！ 1か月の給食や夜の学校の様子も収録しています。

人気絵本作家 長谷川義史氏がやって来ます 親子で楽しむ絵本の世界

読書は、子どもたちの表現力や創造力を高めます。また、読み聞かせは、読書習慣の形成や親子の絆を深めます。

市では、子どもたちがより読書に親しむことができるように人気絵本作家の長谷川義史氏を講師に、笑いが絶えず楽しい「絵本ライブ」とワークショップ「袋のお面づくり」を開催します。親子で絵本の世界を楽しんでください。

- ▽開催日 1月23日(日)
- ▽場所 ゆめトピア長船
- ▽絵本ライブ
- ▽時間 午前10時30分～正午
- ▽定員 400人(先着順)
- ▽袋のお面づくり



長谷川義史
Yoshifumi Hasegawa
1961年大阪府藤井寺市生まれ。グラフィックデザイナーからイラストレーターへ。絵本作家として、ユーモラスでおおらかな長谷川ワールドを生み出す。「ぼくがラーメンたべるとき」で日本絵本賞と第57回小学館児童出版文化賞を受賞。

- ▽時間 午後3～4時
- ▽定員 子ども30人(先着順)
- ※小学校3年生以下は保護者の同伴が必要です。
- 問い合わせ先
社会教育課
☎0869-34-5601

「わくわくチャレンジ」の今月の行事を紹介！
お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

【百人一首】

家庭的な雰囲気の中で百人一首かるたを楽しみましょう。お正月気分を味わえる行事も用意しています。

- ▽日時 1月15日(土)
- 午後1時30分～午後3時30分

▽場所 長船町公民館

【グラスにお化粧】

カッティングシールを好きな形に切って、グラスに貼れば、世界に一つのオリジナルグラスが出来上がります。

- ▽日時 1月22日(土)
- 午前10時30分～正午

▽場所 中央公民館

1ねん1くみの1にち

川島敏生…写真・文

集まれ、子どもたち！

わくわくチャレンジ

- ▽定員 20人(先着順)
- ▽参加費 100円

▽持ってくるもの はさみ、筆記用具

■問い合わせ・申込先
各公民館

募集します

わいわいパソコンメイト

わいわいパソコンメイトは中央公民館のパソコン教室を拠点として活動しているボランティアです。

講習会を定期的に開催したり、困ったときの相談を受け付けたりしています。

現在、新しいメンバーを募集しています。活動の様子を知りたい人は、現場での見学も大歓迎です。

■問い合わせ・申込先
中央公民館

Books



トレッキング実践学

高橋庄太郎…著

近年盛んなトレッキング(山歩き)の世界観や計画の立て方、道具の選び方と使い方、実際の山の歩き方やテント生活術、リスクマネジメントとルールなど、この1冊でトレッキングを完全網羅。若い年代を対象に、ビジュアルも重視した内容です。

今月の月末図書整理日(お休み)は、**1月28日(金)**です。
■貸し出し・問い合わせ先
瀬戸内市立図書館 ☎0869-22-3761
長船町公民館図書室 ☎0869-26-2501
牛窓町公民館図書室 ☎0869-34-5663
HP <http://lib.city.setouchi.lg.jp/>



巻の七十二

地域に残る昔話②

奈良屋の蛇団子

各地域や家庭には代々伝わる風習があり、それぞれ少し、もしくは全く異なっていたりします。

今回の瀬戸内発見伝は、市内に伝わる年末年始に関係した風習と昔話を紹介します。

年末年始の風習

餅つきは、昔は12月20日ごろから遅くとも30日までは行っていました。しかし、28日に餅をつくると火事があるとか、29日は「苦餅」につながるとか、大晦日は「一夜餅」と伝えられこれらの日避けを避けたそうです。

大晦日は年越しそばを食べながら除夜の鐘が鳴るのを待ちますが、除夜とは夜を除くという意味もあり、寝ずに正月を待つといわれています。

除夜に寝ると顔のしわが増える、白髪が増えるなども伝えられ、寝ないで初日の出を拝んだそうです。年越しに食べるそばは、一年間の悪いことや借金から縁が切れるため、いくらか短く切れていても良いと伝えられています。

正月三が日は、福を掃き出すと伝えられ、掃き掃除はしないが、2日に外から内側に向かって福を掃き込むというほうきで数回掃き初めをする

るそうです。また、福を迎えるため雨戸を少し開けておくそうです。

豪商奈良屋の盛衰

江戸時代に「牛窓は滅びても奈良屋は潰れない」と評された豪商奈良屋。奈良屋は江戸時代の初めごろから村役人を勤め、岡山藩の御用商人として栄えた商家です。

しかし、明治12(1879)年、全ての財産を処分して牛窓村を去りました。藩の御用商人として藩や藩士などの取引をしていたが、明治時代を迎え、商品の代金や貸金が回収不能になったことが原因ではないかともいわれていますが、本当のところは分かっていません。

その凋落については次のような昔話が残っています。

奈良屋の蛇団子



牛窓海遊文化館に移植された奈良屋のソテツ

ある年のこと、奈良屋で大勢の掃除人が本宅や別宅、倉に至るまで大掃除を始めました。金銀財宝を納めた倉の片隅で器物を片付けていると、

大小無数の蛇が一抱えもある程の団子状になってウヨウヨしていました。

驚いた掃除人は一匹も逃してはならないと大勢でこれを捕まえ、屋敷前の海へ捨てました。

すると蛇は団子になったままバタバタして、見ている間に海面から姿を消してしまいました。普通であれば蛇は頭を上げて泳ぐものですが、不思議と鎌首を上げる蛇はいませんでした。

その後、奈良屋はすること全てがうまくいかず年々ついで「滅る」という方言、ついに滅びてしまったとき。

昔話がCDになりました



市内の昔話研究会が、「瀬戸内市に伝わる昔話を子どもたちに伝えたい」と昔話のCDを作成しています。現在、

全3巻中の第1巻(1,800円)が販売されています。購入を希望する人は、次の申し込み先へご連絡ください。

- 問い合わせ・申込先
- 西浦千万太さん ☎0869-22-0233
- 大熊康恵さん FAX0869-26-5504
- フジ印刷(株) ☎0869-34-3137
- FAX0869-34-4634